

氏名	徳 丸 久
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第1662号
学位授与の日付	平成9年9月30日
学位授与の要件	医学研究科内科系小児科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	小児における踵骨超音波法による骨評価の年齢別変動 －腰椎骨密度との比較検討－
論文審査委員	教授 井上 一 教授 平木 祥夫 教授 村上 宅郎

学位論文内容の要旨

910例の健常小児を対象に超音波法による踵骨の骨評価を行い、年齢別変動およびDXAによる腰椎の骨密度との関連を検討した。超音波透過指標(transmission index:TI)は、思春期以降に急激に増加し、腰椎の骨塩量および骨密度と有意な正の相関を示した。超音波伝播速度(speed of sound:SOS)は学童期から思春期にかけて低下したのちに思春期後半に有意に増加し、腰椎の体積あたりの骨密度(volumetric bone mineral density:VBMD)と同様の傾向を示した。超音波法により、思春期の骨発育の変化を骨の質的な変化はSOSで、骨塩量の評価をTIで行えることが示唆された。本法は放射線被爆を伴わず、頻回の測定が可能であり、小児の骨成長の評価に有用な検査法であると考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は910例の健常小児を対象に超音波法による踵骨の骨評価を行い、年齢別変動およびDXAによる腰椎の骨密度との関連を検討したものであるが、超音波法が思春期の骨発育の質的な変化および骨塩量の評価に有用であることを示したものであり、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。